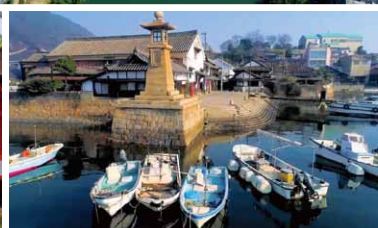


元気じゃけん！ひろしま

—新しい時代へものがたりをつなごう—



第63回建築士会全国大会「広島大会」

63th Japan Federation of Architects & Building Engineers Associations

HIROSHIMA Conventions 2021

CONTENTS

目次

目次	1
タイムスケジュール	2
会場案内図(フロアマップ)	3
第63回建築士会全国大会「広島大会」 大会宣言	4
広島大会開催のご挨拶 公益社団法人広島県建築士会 会長 井本 健一	6
挨拶 公益社団法人日本建築士会連合会 会長 近角 真一	8
祝辞 広島県知事 湯崎 英彦	10
祝辞 広島市長 松井 一實	11
大会概要	12
記念対談 養老 孟司 × 藤森 照信	13
交流セッション	
青年委員会セッション	14
女性委員会セッション	15
景観・街中(空き家)まちづくりセッション	16
福祉まちづくりセッション	17
防災まちづくりセッション	18
環境部会セッション	19
情報部会セッション	20
歴史まちづくりセッション/第8回全国ヘリテージマネジャー大会	21
「木の建築」、「木のまちづくり」シンポジウム	22
大会式典プログラム	23
来賓芳名	24
表彰者	26
協賛団体・企業	34
大会実行委員会	34
全国大会の新型コロナウイルス感染症対策	35
広告	36

タイムスケジュール

浜松町コンベンションホール(日本生命浜松町クレアタワー 5F、6F)

9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

11月19日(金) 全国大会前日

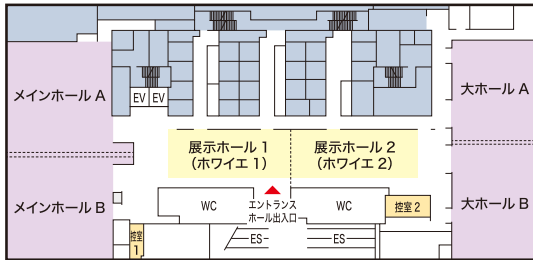
① 記者会見	13:30~ 14:30	6F大会議室C
② 連合会理事・士会長合同会議	15:00~ 17:00	5FメインホールA
③ 第11回まちづくり賞発表会 & 公開選考会	12:30~15:30	6F会議室1
④ 全国ヘリテージマネージャーネットワーク 協議会総会	17:00~ 19:00	6F会議室2

11月20日(土) 全国大会当日

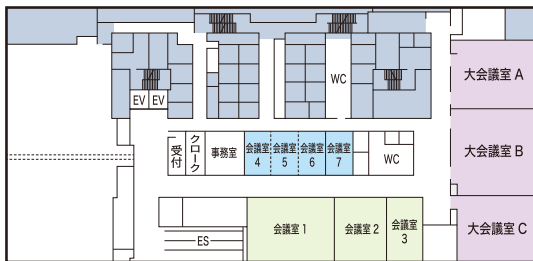
⑤ 青年委員会セッション (地域実践活動発表会)	10:00~ 11:30	6F会議室3
⑥ 女性委員会セッション	10:00~ 12:00	オンライン配信のみ
⑦ 景観・街中(空き家)まちづくりセッション	10:00~ 12:00	6F会議室1
⑧ 福祉まちづくりセッション	10:00~ 12:00	6F会議室5
⑨ 防災まちづくりセッション	10:00~ 12:00	6F会議室6
⑩ 環境部会セッション	10:00~ 12:00	6F会議室2
⑪ 情報部会セッション	10:00~ 12:00	6F会議室4
⑫ 歴史まちづくりセッション/ 第8回ヘリテージマネージャー大会	10:00~ 12:00	6F大会議室B
⑬ 「木の建築」「木のまちづくり」シンポジウム	10:00~ 11:30	6F大会議室A
⑭ 記念対談	13:30~ 15:00	5FメインホールA・B
⑮ 大会式典	15:30~ 17:30	5FメインホールA・B

会場案内図(フロアマップ)

浜松町コンベンションホール



5F



6F

11月19日(金)

第11回まちづくり賞発表会 & 公開選考会

6F会議室1

全国ヘリテージマネージャーネットワーク
 協議会総会

6F会議室2

11月20日(土)

交流セッション

青年委員会 6F会議室3

景観・街中(空き家)まちづくり 6F会議室1

歴史まちづくり/第8回HM大会 6F大会議室B

木の建築 木のまちづくり 6F大会議室A

福祉まちづくり 6F会議室5

環境部会 6F会議室2

女性委員会 オンライン配信のみ

防災まちづくり 6F会議室6

情報部会 6F会議室4

記念対談

5FメインホールA・B

大会式典

5FメインホールA・B

Access



都営地下鉄大江戸線・浅草線

「大門」駅直結

JR山手線・京浜東北線・東京モノレール

「浜松町」駅徒歩 約2分

浜松町コンベンションホール

〒105-0013 東京都港区浜松町二丁目3番1号

TEL: **03-6432-4075** FAX: **03-6432-4076**

受付時間 / 10:00~18:00(土日祝・年末年始除く)

E-mail: info@hmc.conventionhall.jp

URL: <http://www.hmc.conventionhall.jp>

第63回建築士会全国大会「広島大会」

大会宣言

広島県は中国地方のほぼ中央部にあり、南は瀬戸内海、北は中国山地に囲まれ、県人口は約280万人です。

県内には広島市の原爆ドーム、廿日市市の厳島神社の二つの世界文化遺産があります。また、呉市豊町御手洗、竹原市竹原地区、福山市鞆町、廿日市市宮島町の重要伝統的建造物群保存地区のほか、日本遺産に認定された尾道市、呉市など、県内の各所に数多くの歴史的建造物があります。今なお残る被爆建物を含め、広島の地の歴史的建造物を修復保存し、活用し、賑わいのあるまちづくりに活かしてきた物語を、広く次世代へ語り継ぐことは、今、コロナ禍に苦しみ、多発する自然災害に立ち向かう術を見失いかけている日本中の人々に希望を与えることになると考えます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により1年順延となっていた本大会を、まともや現地広島での開催を断念せざるを得ない感染の急拡大を受け、急遽、会場を東京に移し、WEBを主体にした「広島大会」として実施することとなりました。

広島で皆様と直接お会いできないこと、広島風土建物を実体験頂けないことは誠に残念ですが、今まで練り上げてきた広島大会のテーマを共に掲げ、全国の大勢の建築士へ本大会のアピールを届けたいと思います。

われわれ建築士には、人口減少、少子高齢化、過疎・過密、多発する自然災害、空き家の管理・活用など取組むべき課題が多岐にわたります。

本大会は新型コロナウイルス感染禍の下での開催ではあるものの、コロナ収束後の「ニューノーマル(新常态)」を見据えた、新時代の建築を拓く議論を積極的に展開し、建築文化の発展に資する有意義な大会になることを期待します。

ここに、本大会のテーマ

『元氣じゃけん! ひろしま 新しい時代へものがたりをつなごう』を掲げ、次のとおり決意を表明します。

新型コロナウイルス感染症の日本での初の発症例発見から、約2年が経ちます。流行の波が繰り返し何度も襲う状況は全国各地であまねく続いており、収まる気配は伺えません。ワクチン接種の広がりによる流行の収束が期待されますが、今はまだ感染防止対策を緩めるわけにはいきません。各地での感染状況に応じ、来場して対面参加可能な会員と、映像・音声を通じて各地でオンライン参加する会員とが、心ひとつに一体体験できる大会運営を目指します。

「元気じゃけん!」の言葉に込められる爽やかさ、明るさを保ち、ひろしまの過去・現在・未来を物語として紡ぎ、リモートで連携する全国の建築士会会員へ新しい時代にチャレンジする勇気を届けたいと思います。

建築士会会員は、町並み景観・賑わい、災害に強いまち、空き家の管理・活用・住まい方、木の建築美の維持・保全など、わが国固有の伝統や風土を踏まえた役割を果たすとともに、世界に繋がる新しい時代の課題解決に向けた技術力を身に付け、実践することが期待されます。

自然災害から居住地を守る、未知の感染症から命と暮らしを守る、グローバル経済に翻弄されない地域市場を作る、脱炭素施策の担い手として地球を守り世界に繋がる、そんな新しい時代を生きる建築士会及び会員を目指し、次の通り宣言します。

-
- 一、建築士会会員は直面する新しい時代の課題解決に向けた技術力を身に付けるべく自己研鑽する。
 - 一、都道府県建築士会は、会員の新たな技術力研鑽を支援する体制づくりを推進する。
 - 一、次代を担う建築士が育つ環境づくりと、共に行動する会員の増強を推進する。
-

広島大会開催のご挨拶

第63回建築士会全国大会広島大会を開催するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

私たち広島県建築士会は4年間にわたり、全国の会員の皆様に広島においていただくための準備を着々と進めて参りました。しかし、ご存じのように新型コロナウイルスの感染が、異次元の拡大を見せる中、広島での開催を中止するという、苦渋の決断に至りました。多くの会員の皆様から「必ず広島にいくぞ」という励ましの言葉や、実際に7月末時点で2024名の現地参加登録を頂きました。本当にありがとうございました。しかし、第5波でデルタ株が猛威を振るう中、参加される会員の皆さま、地元県民、そして広島士会のスタッフの感染リスクに対する責任を考えると、このような決断になりましたことを、まづもってご報告し、お詫び申し上げます。

その結果、本年度は、会場を東京に移して、WEBを中心としての開催という異例の全国大会になりました。開催にあたり、ご尽力を頂いた日本建築士会連合会をはじめ関係の皆様に厚くお礼申し上げます。

大会テーマの「元気じゃけん!」は、「元気だよ!」という、広島をはじめとする中国地方の方言で、明るさ、爽やかさが込められ、私たちが前向きにさせてくれる言葉です。

大会の主会場に予定しておりました広島市は、今から約400年前、太田川デルタ地帯の埋め立てにより誕生し、現在では人口120万人の中国四国地方の中核都市に成長いたしました。

その間、昭和20年の原爆投下により壊滅的被害を受けながらも、幾多の困難を克服し、復興を成し遂げてきました。その後も平成26年8月、数百年に一度といわれた豪雨による広島市土砂災害、さらに4年後の平成30年7月には西日本豪雨災害に見舞われ、広島県の各所で戦後最大級の被害がもたらされました。現在でも災害の爪痕は残っておりますが、復旧・復興に向けて取り組んでいるところです。

全国各地で、毎年のように発生する大規模な自然災害に見舞われながら、われわれは復旧・復興に立ち向かわなければなりません。昨年初頭からパンデミックをおこしている新型コロナウイルスなどの感染症対



公益社団法人 広島県建築士会 会長
井本 健一

策も新たな課題です。

様々な局面において遭遇する苦難を克服するには、「元気じゃけん!」の気持ちと行動、そして地域の支えあい、日頃からの準備です。このことを、今大会を通して、皆様と共に考えて参りたいと思います。

世界では、地球環境問題や貧困問題などが次世代への大きな負の遺産になろうとしており、SDGsへの取組みは喫緊の課題です。わが国においては、人口が減少し、数多くの空き家の発生が社会的問題となっています。超高齢化時代、少子化時代の建築ストック活用について、社会の要請に応えられるよう、建築士の立場から、新たなものがたりを展開していくことが必要です。

われわれは、受け継いできた豊かな自然、歴史、文化、そして建築を、ひとつひとつ語りつなぎ、次世代に受け渡す使命があります。建築士の立場から、これからの建築のあり方、社会のあり方を未来に向けて発信していく大会にしたいと考えています。

コロナ収束後、日常生活がどのように変わるのか、期待と不安があります。今大会では、建築士としても、「ニューノーマル(新常态)」の視点で、建築技術、建築生産、生活様式、居住スタイルなど建築に係る様々な分野において、積極的に議論を展開し、新たな提言をする必要があると思います。

皆様と親交を深める大交流会、広島の建築物群、風土を満喫して頂けるエクスカージョンが開催できないことは、残念でありませんが、会場参加やWEBにより全国からお集まり頂いた皆様に、広島の建築士会の活動の一端を披露し、議論を深め、大会タイトル『あたらしい時代へ ものがたりをつなごう』を考える大会になりますこと、並びに皆様の一層のご健勝とご活躍を祈念し、ご挨拶といたします。

挨拶

皆様、第63回建築士会全国大会「広島大会」へようこそ、お出で下さいました。新型コロナウイルス感染症拡大への警戒から、急遽、広島から東京へ会場を移し、対面する人数を制限させていただき、移動による感染リスクを避けるためのリモート接続を用意することいたしました。全国のできるだけ多くの建築士会会員に音声と映像を通して「広島大会」を体験いただきたいと願っております。

関係省庁、関係団体の方々からは、お祝い、励ましのお言葉を頂戴いたし、また多くご臨席を賜りましたこと、まことに光栄に存じます。

広島県建築士会の皆様には記念対談並びに本式典の進行をお願いしております。井本会長には「元氣じゃけん！ ひろしま 新しい時代へ“ものがたり”をつなごう」と、高らかに大会宣言をいただく予定になっております。

大会宣言にある“ものがたり”とは、広島の風土が育んだ美しい建築・町並の物語、悲惨極まりない原爆投下による破壊、その後の都市の復活と発展の物語、歴史ある建築物の修復と再生の物語、そして今まさに進行途上で克服できていないコロナ禍と豪雨災害であります。新しい時代とは、地球規模で広がりを見せるこうした災禍にひるまず、国を超えて心ひとつに取り組み、克服を成し遂げたあと、立ち現れる新しい時代のことです。

パンデミックから人々の命と暮らしを守る

コロナの感染は実は空気感染であるという学説について盛んに報道されるようになってきました。コロナ退治にはワクチンや治療薬といった病理学的な対策が必要ですが、人の日常生活を取り巻く空気環境からウィルスを排除する方策を徹底することがより重要で、そのためには空気環境の制御の専門家である建築士の技術力が必要です。建築士会は今後とも換気アドバイス講習に一層力を入れて取り組んでいきたいと思っています。



公益社団法人 日本建築士会連合会 会長
近角 眞一

頻発し激甚化する自然災害から人々の命と暮らしを守る

地球規模の気候変動がもたらす風水害が世界各地で猛威を振っています。建築士会は被災後の建物復旧・再建の相談業務だけでなく、災害が起きる前の事前防災として、その土地・建物は、どれだけのグレードの風水害に耐えられるのかを診断する技術力を高める講習を始めます。診断結果によっては、その地から移転する選択肢も掲げ、集団移転事業の可能性を探ることも視野に入れた技術力が必要となります。

脱炭素の建築を目指し、世界規模の災禍の発生を遅延・軽減させる

コロナと異常気象との関係は依然不明ですが、過去に猛威を振った感染症の多くは異常気象に起因する生態系の乱れとの関連が指摘されています。何れにしても地球を包む大気の異常が我々人間社会に大きな災禍をもたらしているのは明らかなのでCO₂の排出抑制に国際協調するのは発生の主要原因国の一つである日本の義務です。

脱炭素への取り組みは今年の3月に今後10年の国交省の住生活基本計画として盛り込まれたものです。建築士会としては日常の建築実践の場で発注者の意識転換を図る活動に取り組む必要があります。

以上のことは、本大会のアピールに盛り込まれる予定の、建築士の技術力を高めるための行動として連合会に課せられた義務として受けとめさせて頂いております。

ご挨拶の結びにあたって、コロナの猛威で広島での現地開催を断念された広島士会の皆様が、その落胆を乗り越え東京開催に向けて急ぎご協力をいただきましたこと、そして連合会に結集された各委員会各部署の会員の皆様が、2年がかりとなった大会宣言をしっかりと受け止め、リモートにめげず、所定の成果を上げるべくご努力をされたことに、深く感謝申し上げます。最後になりますが本日ここにお集まりの皆様のご健勝とご繁栄を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

祝辞

広島県知事
湯崎 英彦



第63回建築士会全国大会広島大会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

また、公益社団法人日本建築士会連合会及び公益社団法人広島県建築士会の皆様には、日頃から、それぞれの地域において、時代の変化に応じたまちづくりや建築活動を通じて、地域社会の健全な発展と安全で安心な暮らしづくりに努めておられますことに、深く敬意を表しますとともに心から感謝を申し上げます。

御承知のとおり、我が国では、加速度的に進む人口減少や新型コロナウイルスの拡大による社会経済情勢の変化により、先行きの不確実性や不透明さが高まっています。また、地球温暖化等による気象災害の頻発・激甚化や南海トラフ巨大地震等が懸念される中、大規模災害への備えが喫緊の課題となっています。

広島県では、先行きが不透明な時代においても、次の10年間における目指す姿とその実現に向けた取組の方向性を明らかにし、新たな広島県づくりを推進するため、令和3年度を始期とする新たなビジョンである「安心▷誇り▷挑戦▷ひろしまビジョン」を策定いたしました。

この新たなビジョンに掲げる「災害死ゼロ」の実現に向け、地震による建築物の倒壊等の被害から県民の生命、身体及び財産を保護することを目的とした「広島県耐震改修促進計画(第3期計画)」を、今年3月に策定し、広島県内の住宅・建築物の耐震診断及び耐震改修の促進に取り組んでいます。

また、建築物の安全性確保や質の向上におきましては、建築行政の目指すべきビジョンである「広島県建築安全安心マネジメント計画」を、実務者の方からも貴重な御意見を頂いた上、新たな課題への対応を含め、昨年6月に改訂し、既存建築物の維持管理等を通じた安全性の確保や災害発生時の迅速な対応などの様々な取組を進めているところでございます。

今後も建築士の確保・育成に努め、建築物の安全・安心や質の向上への施策を積極的に推進し、「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かったと心から思える広島県」の実現に努めて参ります。皆様におかれましては、更なる御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本大会の御成功と公益社団法人日本建築士会連合会及び公益社団法人広島県建築士会の今後ますますの御発展と、本日御出席の皆様のお健勝、御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

祝辞



広島市長
松井 一實

第63回建築士会全国大会広島大会が、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、開催が一年間延期され、大会開催直前においても、感染の収束が見通せないことから、開催方式をWEB主体に変更し、東京での開催となりましたが、主催者である公益社団法人日本建築士会連合会及び公益社団法人広島県建築士会の皆様の御尽力により、本大会が開催されることとなり、WEBにより大会に参加されます皆様を心より歓迎申し上げます。

また、主催者の皆様におかれましては、建築に係る様々な分野での活動を通じて、地域の発展やまちづくりに寄与されておりますことに深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

本市は、まちづくりの最高目標である都市像に「国際平和文化都市」を掲げ、「世界に輝く平和のまち」、「国際的に開かれた活力あるまち」「文化が息つき豊かな人間性を育むまち」を三つの柱として、これらを市民、企業、NPO等と共有しながら、連携・協働によるまちづくりを進めています。

特に「国際的に開かれた活力あるまち」においては、活力の創出と都市の個性の確立を目指し、楕円形の都心づくりを推進しており、サッカースタジアムの建設、広島駅南口広場の再整備など、都心の魅力づくりをリードする事業に取り組んでいます。

一方で、本市に甚大な被害をもたらした平成26年と平成30年の豪雨災害の教訓、さらに本年8月の豪雨での被害の状況を踏まえ、防災・減災のための施設整備など災害に強い都市構造の形成を図るとともに、持続的な地域の防災力の向上に向けた防災知識の普及など、災害に強い市民活動を推進しています。

こうした中、建築士の皆様が「『元氣じゃけん! ひろしま』 新しい時代へ ものがたりをつなごう」をテーマにWEB上に集まり、様々なプログラムを通じて一層の知識の修得や技術の向上を図られ、今後の実務にいかされることを心から御期待申し上げます。

結びに、本大会の御成功と公益社団法人日本建築士会連合会及び公益社団法人広島県建築士会のみまますの御発展、並びに皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

大会概要

テーマ 元氣じゃけん! ひろしま

—新しい時代へものがたりをつなごう—

- 会 場 …………… 浜松町コンベンションホール(東京都港区浜松町二丁目3番1号)
WEB同時開催、12月31日まで録画配信
- 期 日 …………… 2021年11月20日(土)
- 主 催 …………… 公益社団法人 日本建築士会連合会
- 共 催 …………… 建築士会中国四国ブロック会
(鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知)
- 主 管 …………… 公益社団法人 広島県建築士会
- 後 援 …………… 国土交通省、広島県、広島市

Web参加接続方法

大会当日、日本建築士会連合会のホームページに掲載のアドレスにて動画を視聴いただけます。12月31日まで録画配信いたします。

新型コロナウイルス感染症が収束いたしましたら、是非広島をお楽しみください!



広島城



平和記念公園



原爆ドーム



平和記念資料館



世界平和記念聖堂



広島市現代美術館



嚴島神社(廿日市市)



海上自衛隊呉地方総監部(呉市)



西条の酒造施設群(東広島市)



たけはら町並み保存地区(竹原市)



千光寺と尾道水道(尾道市)



鞆の浦の常夜灯(福山市)



牡蠣料理



お好み焼き



アナゴ飯

記念対談

演題 解剖学者と建築探偵からの“遺言”
～自然・歴史・文化・建築～

対談者 養老 孟司 × 藤森 照信



養老昆虫館 (設計…藤森照信、写真…増田彰久)

講師プロフィール

養老 孟司氏

東京大学名誉教授・医学博士

1937年 神奈川県鎌倉市生まれ
1962年 東京大学医学部卒業
1981年 東京大学医学部教授
1996年 北里大学教授



主な著書

「からだの見方」(サントリー学芸賞)
「バカの壁」(毎日出版文化賞)
「ヒトの見方」「唯脳論」「解剖学教室へようこそ」
「ほんとうの環境問題」「かけがえのないもの」
「死の壁」「考える人」「身体巡礼」
「いちばん大事なこと 養老教授の環境論」
「虫捕る子だけが生き残る」「本質を見抜く力」
「遺言」など

藤森 照信氏

東京大学名誉教授・建築家・建築史家

1946年 長野県生まれ
1971年 東北大学工学部卒業
1998年 東京大学生産技術研究所教授
2010年 工学院大学教授
2016年 東京都江戸東京博物館館長就任



主な著書

「明治の東京計画」(毎日出版文化賞)
「建築探偵の冒険 東京編」(サントリー学芸賞)
「日本の現代建築 上・下」「藤森照信の茶室学」など
【主な作品】
「ニラハウス」(日本芸術大賞)
「熊本県立農業大学校寮」(日本建築学会作品賞)
「神長官守矢資料館」「近江八幡ラ・コリーナ草屋根」
「新勝寺社務所 松堂」「多治見市モザイクタイルミュージアム」など

交流セッション

青年委員会セッション

テーマ

地域実践活動発表会

運営/青年委員会

日時/11月20日(土) 10:00～11:30

会場/浜松町コンベンションホール 6F会議室3、オンライン・録画配信

本セッションでは、全国で展開している青年建築士の活動をブロックごとに出し、一同に発表する「地域実践活動発表会」を開催します。

各地域での青年委員会の活動は多岐にわたり、建築士会だけではなくさまざまな団体、企業、自治体などとともに、子どもたち向けのイベント、まちづくり、防災などの日本や建築の未来をよくする活動を行っています。

地域に根ざした活動事例を参加者で共有し、活動をさらに発展させるための発表の場としてのセッションを開催します。

最近では、発表の手法が地域によってさまざまになってきています。

参加者にとっては、自県の活動のヒントになる時間だけでなく、プレゼンテーション力や情報のまとめ方、周知の仕方などのスキルも身につけることができます。これからの建築士・建築士会を担う青年建築士の発表をお楽しみください。



北海道大会(函館)の青年委員会セッションの様子

交流セッション

女性委員会セッション

テーマ

和の空間の魅力を探る…みたび 「魅力ある和の空間ガイドブック (WEB版)」の活用

運営/女性委員会

日時/11月20日(土) 10:00～12:00

会場/オンライン・録画配信のみ

ライフスタイルが変化し、伝統的な住まいに暮らす人々が減り続けており、日本の住まいに培われてきた和の空間も減りつつあります。連合会女性委員会では、2016年より「和の空間」をテーマに取り組み、和の空間を体験しその魅力を再認識できる建築を紹介するガイドブックを2018年9月に連合会女性委員会のホームページに公開しました。現在もこのガイドブックを皆さまへ発信しているところです。

全国各地の「和の空間」についてより詳しく知っていただくために、各地域の作成者から和の空間について詳しく具体的に伺います。

ご紹介いただいた空間についての思いを直接聞くことで、その空間の良さと魅力を再認識することを目的とします。また、ご紹介いただいた空間について実際に現地へ訪れ、体感することで、和の空間への理解を深め、今後の設計活動へつなげます。



太田家住宅 (広島県福山市)



魅力ある和の空間
ガイドブック

交流セッション

景観・街中(空き家)まちづくりセッション

テーマ

街中の建物等の維持管理と 建て替え等による景観の向上

運営/景観・街中(空き家)まちづくり部会

日時/11月20日(土) 10:00~12:00

会場/浜松町コンベンションホール 6F会議室1、オンライン・録画配信

近年の人口減少や社会・経済などのニーズの変化により、かつて繁栄していた街中の建物は、住み手や使用する人がいなくなり、適切に維持管理もされず放置され空き家や空き店舗となっています。

そして、地域の活性化を阻害し周辺の環境や景観に悪影響を与えています。そのため、前々回のさいたま大会では、「空き家等の利活用における建築士の役割」をテーマとし、建築士、建築士会として何ができるかを話し合いました。また、前回には、北海道大会において、空き家等の適正管理と利活用による景観の向上をテーマとして、「どうすれば適切な管理が維持できるのか」「どうすれば空き家を如何に早く流通させることができるのか」「除却後の空き地の景観をどのように誘導するのか」について話し合いました。

また、建築士会で「空き家の活用に関する研修会」の開催や自治体との連携が進められ、日本建築士会連合会は、研修カリキュラムやテキスト等の見直しも行いました。今年の広島大会では、空き家の相談事業、空き家バンク事業の実態をふまえ、空き家・空き店舗等の維持管理の問題や新たな利活用の事例提案等を学ぶとともに、町並み景観の在り方、景観整備機構との関係なども検証し、自治体連携の進め方、建築士の職能の拡大などについて話し合います。



空き家の活用飲食店・宿泊施設事例(融資制度を活用)

交流セッション

福祉まちづくりセッション

テーマ

コロナ禍から見えてきた 福祉まちづくり部会 活動の姿

運営/福祉まちづくり部会

日時/11月20日(土) 10:00～12:00

会場/浜松町コンベンションホール 6F会議室5、オンライン・録画配信

コロナ禍における建築士活動への影響は大きいですが、各地から届いた福祉まちづくり活動では、高齢者の住まいづくりの各種研修や多職種との連携、バリアフリー、ユニバーサルデザインの取り組みなど、しっかりと継続していることを知り心強く思いました。それらの活動の多くはコロナウイルス感染防止の観点から、集まっての会議や研修が難しい中、Zoomを活用した会議や研修・交流となっており、コロナ禍の恩恵とでもいえる新展開です。これまで目標としてきたさまざまな専門家との連携についても、地域内に限らず全国規模での研修や交流により幅広い展開が実現したり、未組織で動きの見えなかった建築士会への刺激や活動開始の可能性も見えてきました。

セッションでは、各地の活動報告とともに、Zoomの積極的活用による福祉まちづくり部会活動の活発化や可能性について皆さんと語り合いたいと思います。大会自体、大勢の会場参加が難しく、会場+WEB参加の試験的取り組みの大会になることが予想されます。その際には、現地参加が難しい方もWEBで大勢参加していただきたいと思います。一方、コロナ流行により外出を控え、家に閉じこもりがちとなり「コロナフレイル」の懸念が高まっている中、特に高齢者の「心身虚弱防止」を図り、孤独や孤立を防ぎ生活を活性化させるような住まいづくり、まちづくりという新たなテーマについても話し合いができればと考えています。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。



Zoom会議の状況

交流セッション

防災まちづくりセッション

テーマ

「事前の備え」としての 「建築士会事前防災活動指針」を考える

運営/防災まちづくり部会

日時/11月20日(土) 10:00~12:00

会場/浜松町コンベンションホール 6F会議室6、オンライン・録画配信

平成30年3月、防災まちづくり部会では、「事前の備え」として熊本地震における熊本士会を中心に実施した復旧・復興支援活動を整理し、今後予想される大規模地震災害での迅速で円滑な支援活動を目的に、各士会が事前に取り組むべき防災まちづくり活動として「建築士会事前防災活動指針」をまとめた。その後、平成30年7月には中四国地域を中心に発生した西日本豪雨では、開催地広島でも大きな被害が発生した。令和元年には、8月の九州北部豪雨に始まり、10月に日本列島を襲った台風19号では東海、関東、東北地域と広域的に被害が発生した。さらに、令和2年7月豪雨により熊本県を中心に大きな風水害が発生している。このように地震災害以外に、毎年のように各地で発災している風水害に対して、令和2年度に連合会では「災害対策特別委員会」を設置して、従来の地震災害対応の指針に風水害対策も加えた「地震風水害対応・建築士会事前防災活動指針」を策定している。

そこで今回のセッションでは、被災士会の支援活動状況報告や、すでに「事前の備え」としての防災まちづくりに取り組んでいる活動事例報告を通して、「建築士会事前防災活動指針」の周知と共に、まだ取組が出来ていない士会への「きっかけ」となる議論を考えている。また、令和3年度に「災害対策特別委員会」は、連合会での常設専門委員会として「災害対策委員会」に生まれ変わり、防災まちづくり部会との連携が期待されている。今年度は、建築士会の災害に取り組む基本姿勢をまとめた「建築士会の災害対応」の全面的な改訂を計画しているので、被災地からの事例発表者には、災害に取り組む建築士の基本姿勢についても、意見を聞きたいと考えている。



真備被害(和風)



真備被害(洋風)

交流セッション

環境部会セッション

テーマ

SDGsと建築・まちづくり PART2 地域共生による持続可能な建築・まちづくり

運営/環境部会

日時/11月20日(土) 10:00~12:00

会場/浜松町コンベンションホール 6F会議室2、オンライン・録画配信

国際合意したSDGs(持続可能な目標)の実現、特にゴール11の「持続可能なまちづくり」に果たす、地域での建築士の役割と可能性について、2019年北海道大会で深めました。

2021年はPART2として、建築士各自の日々の設計行動はSDGsにどう関係しているのか、より良い設計行動を進める上でSDGsをどう生かしていくべきかについて考えます。建築士として建築士会としてのSDGsに対する行動指針のあり方について検討します。SDGs宣言をした建築士会の行動や、市町村のSDGsアクションと連携したSDGs宣言やSDGsアクションをしている支部活動、近年、継続的にSDGs講習会やセミナーを開催し、独自のSDGsゴールを設定している建築士会からのSDGs行動方針とアクションについて報告をして頂きます。また、日本建築学会は2021年3月11日に発信した「日本建築学会SDGs宣言」及びSDGsのゴールを連関させた7つのテーマでの行動方針について報告をします。

セッションに先立って47の単位建築士会を対象に実施したSDGsアンケートの結果を報告し、各単位士会でのSDGsに関する課題、問題意識について概括すると同時に、建築士会連合会としてのSDGs行動方針のあり方について討議します。



交流セッション

歴史まちづくりセッション/第8回全国ヘリテージマネージャー大会

テーマ

歴史的建造物とまちづくり ～広島県内の重伝建4地区を事例に～

運営/歴史まちづくり部会/全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会

日時/11月20日(土) 10:00～12:00

会場/浜松町コンベンションホール 6F大会議室B、オンライン・録画配信

広島県を代表する歴史的建造物と言えば厳島神社と原爆ドームです。しかし広島県内には、この二つの世界文化遺産以外にも様々な歴史的建造物が存在しています。例えば重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)。福山市鞆町は中世より潮待ちの港、海上交通の要衝として、竹原市竹原地区は近世初期より入浜式塩田による製塩の町として、呉市豊町御手洗は江戸時代中期より北前船航路の要衝として繁栄しました。また、本年新たに選定された廿日市市宮島町は、瀬戸内海の安全を祈願する参詣者が多く訪れる厳島神社の門前町として、中世初期より賑わってきました。この4地区では、それぞれ、官民一体での町並み保存に向けた取り組みが進んでおり、このほか、数多くの酒蔵が建ち並ぶ東広島市西条地区や、庄原市東城町、尾道市、さらには広島陸軍被服廠をはじめとする旧軍関連施設など、県内各地で町並みや歴史的建造物の保存・活用に向けた検討や活動が進んでいます。

このように、様々な地域における歴史まちづくり的な観点が非常に重要であると考えます。本大会では、広島県内の重伝建4地区を事例とし、東京と広島の会場をつないで、それぞれ異なる町の歴史や特性、町並み保存に向けた取り組みを紹介するとともに、単体の歴史的建造物と町との関係や、海でつながる4つの町の関係性などについても幅広く意見交換することにより、今後のまちづくりのあり方や方向性、建築士とヘリテージマネージャーの果たす役割について議論していく手がかりになることを期待しています。



交流セッション

「木の建築」「木のまちづくり」シンポジウム

テーマ

今求められる木の建築・木の活動とは

木の建築賞へのいざない

木の建築・活動を巡る議論の場

日時/11月20日(土) 10:00～11:30

会場/浜松町コンベンションホール 6F 大会議室A、オンライン・録画配信

変動の時代に生きる私たちは、日本の地域環境のみならず地球環境まで、それらの未来を見据えた上で、建築をつくっていかねばならなくなってきました。同時に、さまざまな問題を抱えた地球上の仲間が、どうしたら幸せに生きることができるのか、建築で何が解決できるのか、その実践が問われています。

そんな今、安らかに暮らせる住宅や、幼児・子どもの施設を、気持ちよく活動できる働く空間を、そして高齢者の施設、障害者の施設などなど、それらを、再生可能な森林資源である木材を利用した「木の建築」で実現できる可能性を探りたいと思うのです。「木の建築賞」を通して、共に未来を見つめて行きたいと思います。

「木の建築賞」は、全国を7地区に分け、「いま、求められる木の建築・活動とは」という呼びかけに、森林・木材・建築にかかわる全国の実践者が応募し、その中から、優秀な建築・活動を顕彰するものです。地域の資源を活かした成果を発表するといった活気ある場である「木の建築賞」の、意義や魅力をお伝えしたいと思います。



第15回木の建築賞、公開選考会での全体討論の様子



発表者への会場での投票

大会式典プログラム

日時 2021年11月20日(土)15:30~17:30

会場 浜松町コンベンションホール 5F「メインホールA・B」(東京都港区浜松町2-3-1)

15:30	オープニング動画	広島県建築士会 大会PR動画
15:35	開会宣言	公益社団法人 広島県建築士会 副会長 佐名田 敬荘
	開催地会長挨拶	公益社団法人 広島県建築士会 会長 井本 健一
	国歌斉唱	
	物故者追悼	
	主催者挨拶	公益社団法人 日本建築士会連合会 会長 近角 眞一
	来賓祝辞	国土交通大臣 齊藤 鉄夫 様 林野庁長官 天羽 隆 様 広島県知事 湯崎 英彦 様 広島市長 松井 一實 様
来賓紹介		
祝電披露		
表彰式	連合会会長表彰 伝統的技能者表彰 建築作品賞表彰 まちづくり大賞表彰 地域実践活動表彰	
大会アピール	公益社団法人 広島県建築士会 会長 井本 健一 公益社団法人 日本建築士会連合会 副会長 柳澤 講次	
大会旗引継		
次期開催地会長挨拶	一般社団法人 秋田県建築士会 会長 淡路 孝次	
閉会挨拶	公益社団法人 広島県建築士会 副会長 佐名田 敬荘	

来賓芳名

国土交通省	国土交通大臣	齊藤 鉄夫
林野庁	林野庁長官	天羽 隆
行政関係	広島県知事	湯崎 英彦
	広島市長	松井 一實
関係団体	(公財)建築技術教育普及センター	理事長 井上 勝徳
	(公財)建築技術教育普及センター	専務理事 林田 康孝
	(一財)日本建築センター	理事長 橋本 公博
	(一財)日本建築センター	専務理事 香山 幹
	(一社)日本建築士事務所協会連合会	会長 児玉 耕二
	(一社)日本建築士事務所協会連合会	専務理事 居谷 献弥
	(公社)日本建築家協会	会長 六鹿 正治
	(公社)日本建築家協会	副会長 森 暢郎
	(公社)日本建築家協会	専務理事 筒井 信也
	(一社)日本建築学会	会長 田辺 新一
	(一社)日本建築学会	専務理事 小野寺 篤
	(一財)日本建築防災協会	理事長 坂本 功
	(一財)日本建築防災協会	専務理事 石崎 和志
	(一社)日本建設業連合会	会長 宮本 洋一
	(一社)日本建設業連合会	専務理事 上田 洋平
	(一財)住宅保証支援機構	理事長 佐々木 宏
	(一財)住宅保証支援機構	専務理事 臼井 浩一
	(一社)建築設備技術者協会	会長 赤司 泰義
	(一社)建築設備技術者協会	専務理事 山下 浩一
	(一社)全国建設業協会	会長 奥村太加典
	(公社)ロングライフビル推進協会	会長 運輸 賢治
	(公社)ロングライフビル推進協会	専務理事 田中 淳
	(一社)全日本建築士会	会長 上岡 秀休
	(一社)日本建築構造技術者協会	会長 常木 康弘
	(一社)日本建築構造技術者協会	専務理事 嵐山 正樹
	(公社)日本建築積算協会	会長 浦江 真人
	(公社)日本建築積算協会	副会長 生島 宣幸

来賓芳名

(一財)ベターリビング	理事長	井上 俊之
(一財)ベターリビング	常務理事	長崎 卓
(一財)日本建築設備・昇降機センター	理事長	坂本 努
(一財)日本建築設備・昇降機センター	専務理事	内田 純夫
(一財)建築行政情報センター	理事長	後藤 隆之
(一財)建築行政情報センター	専務理事	木下 一也
日本伝統建築技術保存会	会長	鳥羽瀬公二
(公社)全国市街地再開発協会	理事長	大村謙二郎
(公社)全国市街地再開発協会	専務理事	西尾 信次
(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター	理事長	杉藤 崇
(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター	専務理事	須藤 哲夫
(一財)建築環境・省エネルギー機構	理事長	村上 周三
(一財)建築環境・省エネルギー機構	専務理事	金井 昭典
(一財)住宅生産振興財団	会長	那珂 正
(一財)住宅生産振興財団	専務理事	釜谷 智弘
(一社)プレハブ建築協会	会長	堀内 容介
(一社)プレハブ建築協会	専務理事	平松 幹朗
(一財)高齢者住宅財団	理事長	加藤 利男
(一財)高齢者住宅財団	専務理事	村山 浩和
(公財)日本住宅・木材技術センター	理事長	古久保英嗣
(公財)日本住宅・木材技術センター	専務理事	金子 弘
(一社)日本設備設計事務所協会連合会	会長	高木 俊幸
(一社)日本設備設計事務所協会連合会	専務理事	大竹 亮
(一社)住宅生産団体連合会	会長	芳井 敬一
(一社)住宅生産団体連合会	副会長・専務理事	小田 広昭
住宅保証機構(株)	代表取締役社長	小川 富由
(株)日本建築住宅センター	代表取締役社長	合田 純一
(株)日本建築住宅センター	顧問	松野 仁
田島ルーフィング(株)	営業部企画本部広報企画室室長	河合 宏

報道関係

日刊建設工業新聞社
日刊建設通信新聞社
建通新聞社
日本住宅新聞社
新建新聞社

表彰者

令和2年度 連合会会長表彰

青 森	野 呂 秀明	渡 辺 孝太郎	竹 内 昭三
岩 手	岩 間 正行	鷹 薮 紅子	佐 々 木 保
宮 城	齋 藤 善昭		
秋 田	泉 谷 昭一		
山 形	石 井 徹	長 堀 聡	
福 島	藤 田 正治	佐 久 間 保一	佐 川 齊
茨 城	木 村 千明	諸 川 博幸	稲 葉 光夫
栃 木	富 樫 修	岩 上 亨	酒 井 誠
群 馬	佐 藤 昌子	河 島 克樹	塚 本 敏博
埼 玉	近 内 茂雄	須 賀 繁松	
千 葉	秋 元 卓哉	成 瀬 孝	秋 田 幸一
東 京	野 崎 淑子 山 本 覚 吉 村 昌朋	生 田 目 裕 森 田 雄太郎	渡 邊 定夫 石 川 智章
神 奈 川	小 菅 邦夫 内 山 勝麗	三 浦 孝昭	池 谷 透
山 梨	伊 藤 吉夫	前 島 治文	長 田 正彦
長 野	岩 原 忍功 吉 原 功	松 本 茂男	北 村 洋子
新 潟	石 川 一夫	増 田 豊	矢 部 良男
静 岡	水 上 茂樹		

表彰者

令和2年度 連合会会長表彰

愛知	浅井 裕雄 武藤 康正	池田 雅幸 吉田 英樹	岩瀬 計介
岐阜	高橋 秀一	大石 佳知	小川 泰弘
三重	宮崎 重則	岡野 文生	
富山	高道 一栄	中谷 元秋	杉本 隆一
石川	岡田 浩之	熊田 康也	本田 正敏
福井	横山 義博	佐々木 忠彦	
滋賀	古川 政博		
京都	小幡 真次	小嶋 隆	齋藤 忠司
大阪	相原 康隆 上田 仁美	曾我部 千鶴美	松村 和吉
兵庫	西嶋 宣久	佐々木 博司	杉本 雅子
奈良	森田 恭司	本保 万貴子	
鳥取	松本 昭弘	讃岐 英夫	
島根	湯浅 健一	村上 修二	今明 稔英
岡山	石原 彰二	磯野 英史	
広島	細見 恵	神岡 千春	井手口 耕三
山口	藤井 幸明	原田 頼邦	松原 暁宏
徳島	川島 正浩	岸田 徳明	高田 哲生
香川	大西 秀行	曾根 昭一	土田 実

表彰者

令和2年度 連合会会長表彰

愛媛	菅野 隆次	谷川 三郎	井出 直
高知	後藤 孝一	米林 利雄	
福岡	荒木 祐徳 矢富 英明	井上 聡	藤木 博文
佐賀	西原 守		
長崎	野澤 正雄	川崎 敏裕	貞苅 恒広
大分	穴井 輔嘉	中園 幸治	尾方 秀則
鹿児島	諏訪下 勉	田代 昌弘	中村 重昭

令和2年度 伝統の技能者表彰

北海道	工藤 泰博	岩 手	猪狩 琢二
秋 田	高橋 喜志治	山 形	森 敏夫
栃 木	白井 健次	群 馬	後藤 重成 (重榮 成琳)
千 葉	片桐 誠	神奈川	木村 敏長
新 潟	大桃 実	愛 知	大岩 萬次
富 山	山田 隆一	石 川	小阪 広行
京 都	大塚 祐司	大 阪	砂田 憲良
兵 庫	江戸 保	鳥 取	北村 昭人
香 川	野崎 正明	愛 媛	菊地 陽一郎
高 知	藤岡 正男	長 崎	永峯 主税
大 分	森 力	鹿児島	玉島 裕一

表彰者

令和3年度 連合会会長表彰

北海道	鈴木 徹 山内 一男	北村 啓 室井 正行	大宮 敦男
青森	西澤 祐子	山口 聡	平内 進勝
岩手	高橋 誠作	茅森 吉則	千田 敏夫
秋田	田中 教雄	櫻庭 星治	
山形	矢萩 浩次	金田 巖	
福島	山野邊 龍介	佐賀 幹雄	小谷津 和矢
茨城	滑川 浩一	加藤 繁治	家富 秀一
栃木	藤田 晴司	堀江 節子	岡田 豊子
群馬	坂口 武	大久保 守	日里 早知子
埼玉	池田 尚司	折原 勉	
千葉	笠西 桂一	椎名 義信	金光 朝子
東京	青木 伊知郎 榎田 敦 山崎 裕史	中野 晶子 町田 瑞穂 <small>トヨタ</small>	根上 彰生 宮城 秋治
神奈川	宇土 喜久夫 梅澤 典雄	小川 嘉一	東 二郎
山梨	佐野 正秀	藤田 義治	松浦 芳恵
新潟	岩崎 隆寿	室岡 耕次	杉田 康一
愛知	岡島 直樹 杉浦 幸夫	河原 雅己 塚本 正二	米谷 雅弘
岐阜	橋田 勲	大野 二郎	

表彰者

令和3年度 連合会会長表彰

三重	山川 退三	倉世古 真人			
富山	川合 光行	根塚 三起生	水上 利明		
石川	畝本 秀一	宇枝 敏夫	小林 吉則		
福井	森川 清和				
滋賀	菊川 太嗣				
京都	板倉 昇	岡本 章良	岩田 信一		
大阪	沼田 亘 岩岸 克浩	仙入 洋	平井 浩之		
兵庫	岡崎 雅彦	前川 象二郎	西垣 善夫		
奈良	徳本 雅代	寄山 雅由			
和歌山	柳川 廣美	藪下 昌宏	畠中 みか		
鳥取	大北 美知枝	遠藤 学			
島根	森本 恭史	塩野 裕士	板持 潤一		
広島	二井 義博	中野 敏己	竹中 哲成		
山口	下村 成巳	瀬戸 孝博			
徳島	中岡 高志	泉 恭宏	石井 哲夫		
香川	金本 一成	後藤 哲夫	神余 智夫		
愛媛	大西 勝秀	神田 孝一	大西 直子		
高知	岡崎 泰弘	岡村 卓治			
福岡	池田 友三	岡 秀昭	中島 孝行		

表彰者

令和3年度 連合会会長表彰

佐賀	小島 啓	平野 直人		
長崎	出上 正寿	松川 昌夫	木場 耕志	
熊本	甲斐 勝三			
大分	佐藤 敏孝	佐藤 富士雄	工家 一彦	
宮崎	矢野 公一			
鹿児島	松井 謙太郎	城下 芳和	川原 克郎	

令和3年度 伝統の技能者表彰

秋田	鈴木 武夫	山形	長谷川 静夫
茨城	皆川 昭雄	栃木	岡 英男
群馬	小野 康博	千葉	高木 祥光
東京	山崎 健二	神奈川	大島 隆司
新潟	戸田 保美	愛知	岩瀬 幸博
富山	下島 達雄	石川	山城 久明
京都	松田 聖	大阪	鳥羽瀬 公二
兵庫	中石 八郎	奈良	森井 善弘
鳥取	多林 修	島根	原田 貞治
広島	徳岡 秋雄	愛媛	濱田 成一
長崎	小林 長一郎	大分	板井 秀之
鹿児島	山之内 浩二		

表彰者

第1回 建築作品賞

1-1 居住・生活空間系の建物

			作品名
大賞 / 優秀賞	設計者	西口 賢 (愛知建築士会)	大地の家
奨励賞	設計者	武保 学 (三重県建築士会)	two house 92歳と2歳と暮らす
奨励賞	筆頭設計者 共同設計者	下吹越武人 (東京建築士会) 佐藤 淳 (東京建築士会)	K2 house
奨励賞 / U40建築賞	筆頭設計者 共同設計者	落合 正行 (東京建築士会) 杉本 将平 (東京建築士会)	上池台の住宅 いけのうえのスタンド

1-2 商業・業務・交通系の建物/1-4 その他

			作品名
優秀賞	筆頭設計者 共同設計者	高橋 秀通 (東京建築士会) 石原 政幸 (東京建築士会) 大庭 拓也 (東京建築士会) 高橋 恵多 (東京建築士会) 長嶺 博 (千葉県建築士会) 石川慎一郎 (東京建築士会)	有明体操競技場
奨励賞	筆頭設計者 共同設計者	赤松佳珠子 (東京建築士会) 岸 尚志 (東京建築士会)	アストラムライン新白鳥駅
奨励賞	筆頭設計者 共同設計者	井坂 幸恵 (東京建築士会) 田邊 雄之 (東京建築士会) 佐藤 淳 (東京建築士会) 大塚 悠太 (東京建築士会)	コロナ電気 新社屋工場1+2期

表彰者

第1回 建築作品賞

1-3 教育・文化・福祉系の建物

			作品名
優秀賞	筆頭設計者	青木 淳(東京建築士会)	京都市美術館
	共同設計者	西澤 徹夫(東京建築士会)	
		森本 貞一(大阪府建築士会)	
		久保 岳(大阪府建築士会)	
奨励賞	筆頭設計者	水越英一郎(東京建築士会)	早稲田大学37号館 早稲田アリーナ
	共同設計者	篠崎 亮平(東京建築士会)	
		宮崎 俊亮(東京建築士会)	
奨励賞	筆頭設計者	出口 亮(東京建築士会)	TSURUMIこどもホスピス
	共同設計者	麻田 北斗(東京建築士会)	
奨励賞	筆頭設計者	八里 直輝(東京建築士会)	東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス
		加藤 亨(東京建築士会)	
	共同設計者	高野 勝也(東京建築士会)	
		河野 利幸(東京建築士会)	
		浦波 寛弥(東京建築士会)	
U40建築賞	筆頭設計者	石原 嘉人(東京建築士会)	東京藝術大学 国際芸術リソースセンター (IRCA)
	共同設計者	萩原 裕加(東京建築士会)	

2 リノベーション

			作品名
優秀賞	設計者	西川英治(石川県建築士会)	輪島K A B U L E T
奨励賞	設計者	中西ひろむ(大阪府建築士会)	COCONOアートプレイス (大野市古民家ギャラリー)

協賛団体、企業

支部

広島県建築士会広島支部
広島県建築士会呉地区支部
広島県建築士会東広島支部
広島県建築士会三原支部

広島県建築士会尾道支部
広島県建築士会福山支部
広島県建築士会県北支部

企業

(株)建築資料研究社/日建学院
(株)総合資格学院

大会実行委員会リスト

広島県建築士会

大会実行委員長 佐名田 敬荘

副実行委員長 上木 薫、加藤 史隆

総務部会 (部会長)林 康文(副部会長)河野 房子

(部会員)栄花 彰子、北基 幸祐、奥野 功貴、原田 慎治、沖 洋平、宮崎 周二、清水 大智、
中村 明、武内盟子、山田晃、亀島亮、真倉 翔、篠原 望、河村 亮、小林大軸、奥家彰一、
伊東卓哉、赤松壘、二井大嘉、井原真琴、末重麻衣、島津亮介、城戸宏行

財務部会 (部会長)神岡 千春(副部会長)石脇 伸一
(部会員)藤原 正友、加島 晴子、小玉 志帆、藤井 真弓

広報・資料部会 (部会長)松田 智仁(副部会長)吉谷 勝美
(部会員)梶川 彰彦、福田 由美子、佐々岡 由訓、甲斐 美里、金澤 正裕、若井 信、
井上 祐司、地井 漁夢、小坂 崇、小瀧 宏治、宮迫 勇次、川上 裕樹

式典部会 (部会長)宮地 正人(副部会長)藤井 秀幸
(部会員)廣田 昌治、今岡 哲也、川島 満、三好 弘泰、長崎 聖、藤原剛、木村 雄祐、
浜岡 和史、武市 勇祐、松原 綾、立石 博志

会場部会 (部会長)舩盛 浩二(副部会長)中居 和志
(部会員)楨本 数也、村田 知也、田端 智樹、和田健作、山崎 樹理、森下 亮介、内本 康雄、
木下 和夫、山根 暢二、池上 和美、森本 謙太朗、香川 寛治

フォーラム・セッション部会 (部会長)三島 久範(副部会長)森保 直也、家頭 昌子
(部会員)長島 周平、村上克広、橋本 明美、増谷 昌則、平川 英二、濱田 昌範、
渋谷 和正、岡田 文夫、平賀 幸壮

交流部会 (部会長)井手口 耕三(副部会長)松本 浩一
(部会員)沖野 浩明、迫谷 政則、実森 尊信、岡田 誠二、平川 英二、尾茂田 一孝

エクスカッション部会 (部会長)生田 文雄(副部会長)高田 由美
(部会員)柴田 直美、福馬 晶子、柳田 真俊、江南 大樹、長島 周平、野口 美保、石田 光吉、
実森 尊信、廣安 耕紀、山中 靖彦、森川 順平、松岡 友夫、川野 仁経、保井 英三、河村 明植、
香川 寛治、博多 努、萬ヶ原 伸二、向井 敏美、久保 伸治、清水 俊文、栄花 彰子、正木 宏昌、
弘永 佑太、北村 圭、柳河 元木、浦山 豊隆、大森 祐之、津村 栄一、原田 聖将、田口 雄政、
中野 敏己、光井 周平、君崎 好信、桜庭 誠、橋 孝司

ヘリテージ部会 (部会長)濱井 義樹(副部会長)橋田 勇人
(部会員)宮崎 淑子、篠部 裕、榎原 節男、酒井 俊壮、岡田 文夫、正尺 文夫、中野 敏己、
家頭 昌子、山中 靖彦

情報部会 (部会長)香川 寛治

企画総務委員 井本 健一、長岡 みゆき

監査 山口 邦良、二井 義博

相談役 元廣 清志

事務局 梶川 鈴恵、中武 美紀、藤高 加奈子

※複数部会に所属する会員は重複記載しています。

全国大会の新型コロナウイルス感染症対策

1. 全国大会のオンライン配信

第63回建築士会全国大会広島大会は、新型コロナウイルス感染拡大により、オンライン配信主体での開催とします。連合会のホームページから、どなたでも無料で視聴でき、令和3年12月31日24:00(予定)まで見逃し配信も行います。

連合会アドレス <https://www.kenchikushikai.or.jp/>

2. 現地参加者への新型コロナウイルス感染症対策

大会関係者(主催者・来賓・表彰者等)の現地参加者に対しても、以下の感染対策を実施し、安全・安心な大会運営に努めます。

(1) 主な感染対策

- ① 各会場の定員は、1/2以下に抑える
- ② 現地参加者は大会関係者(主催者・来賓・表彰者等)のみ、かつ事前登録制とし、入場を制限する
- ③ 受付を原則行わないなど人と人との接触機会を可能な限り低減する
- ④ 会場内は、マスク着用、大声は出さない、手指の消毒、飲食禁止、ソーシャルディスタンスの確保等、基本的な感染対策を励行する
- ⑤ 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)のダウンロードを推奨する
- ⑥ ワクチン接種(二回)完了者以外には、事前のPCR検査を推奨する

(2) 以下の方の入場は制限させていただきます

- ① 37.5度以上の発熱のある方(入場時に検温をさせていただきます)
- ② 咳・咽頭痛・息苦しさ等の症状が認められる方
- ③ 疲労倦怠感や味覚・嗅覚異常など体調が優れない方
- ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者と濃厚接触歴のある方
- ⑤ 過去14日以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方、及び、過去14日以内に同様の症状にある人との接触歴がある方
- ⑥ その他、感染の疑いがある方

(3) 会場の感染対策

- ① すべての入口近辺へのアルコール消毒液の設置
- ② 施設に完備された換気システムによる常時換気(空調機のCO₂センサーにより1000PPM以下に自動制御)
- ③ 会場利用毎の清掃、使用備品(テーブル、椅子等)の消毒
- ④ トイレ備え付けのハンドドライヤーの使用中止
- ⑤ 来場者へのアルコール消毒、トイレ使用後のフタ閉めなどを促すサインの設置
- ⑥ ソーシャルディスタンスに配慮した会場レイアウト
- ⑦ 施設スタッフの体調管理、対策の徹底(毎日の体温チェック、マスク着用、手洗い等)

1級建築士試験

全国 No.1

合格者占有率

総合資格学院は、
「今」最も合格者を輩出している
スクールです！

令和2年度 1級建築士 学科・設計製図試験



全国ストレート合格者1,809名中 /
当学院当年度受講生1,099名 (令和2年12月25日現在)

令和3年度 1級建築士 学科試験



全国合格者4,832名中 /
当学院当年度受講生2,202名 (令和3年9月7日現在)

令和2年度 1級建築士 設計製図試験

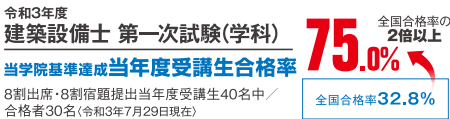


全国合格者3,796名中 /
当学院当年度受講生2,041名 (令和2年12月25日現在)

令和3年度 2級建築士 学科試験



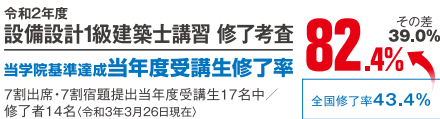
8割出席・8割宿題提出・総合模擬試験正答率6割達成
当年度受講生763名中 / 合格者717名 (令和3年8月24日現在)



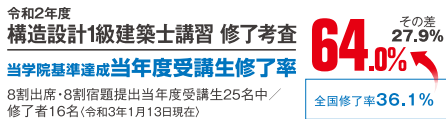
8割出席・8割宿題提出当年度受講生40名中 /
合格者30名 (令和3年7月29日現在)



6割出席・6割宿題提出当年度受講生440名中 /
合格者358名 (令和3年7月16日現在)



7割出席・7割宿題提出当年度受講生17名中 /
修了者14名 (令和3年3月26日現在)



8割出席・8割宿題提出当年度受講生25名中 /
修了者16名 (令和3年1月13日現在)

申込区分I修了者のおよそ2人に1人は
当学院の当年度受講生！
申込区分I (法商合規設計製図) 修了者占有率 **46.8%**
申込区分I修了者47名中 / 当学院当年度受講生22名 (令和3年3月26日現在)

おかげさまで総合資格学院は「合格実績日本一」を達成しました。
これからも有資格者の育成を通じて、業界の発展に貢献して参ります。

総合資格学院学院長 岸 隆司

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示」に関する実態調査報告書に基づき掲載しております。※全国合格者数・全国ストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。※学科・製図ストレート合格者と、令和2年度1級建築士学科試験に合格し、令和2年度1級建築士設計製図試験にストレートに合格した方です。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみ受検生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

総合資格学院

東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル2階 TEL.03-3340-2810



全国約100拠点

スクールサイト www.shikaku.co.jp

コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp

開講講座一覧	1級・2級建築士	構造設計/設備設計1級建築士	建築設備士	1級・2級建築施工管理技士	1級・2級土木施工管理技士	1級・2級建築士定期講習	第一種電気工事士定期講習	宅建登録講習
	1級・2級電工施工管理技士	1級造園施工管理技士	宅地建物取引士	賃貸不動産経営管理士	インテリアコーディネーター	管理建築士講習	監理技術者講習	宅建登録実務講習

Twitter ⇒ @shikaku_sogo | LINE ⇒ 「総合資格学院」 | Facebook ⇒ 「総合資格 fb」 で検索!

日建学院

働きながら資格を取る。

楽じゃない。

でも、未来を変えるなら今だ。

Believe in yourself.

その意欲が、なりたい自分を実現させる最初の一步。
日建学院は、仕事と学習を両立させたいあなたを全力でサポートします。

**建設関連・不動産関連の
資格取得なら、日建学院へ。**

徹底的に考え抜かれた合格メソッドであなを全力サポートします。



女性を選ぶ資格スクール
No.1



建築のプロがおすすする建築士講座
No.1



大学生が選ぶ資格スクール
No.1

一級建築士
業界実績 **No.1**

開校以来、建築士、宅建士
各種施工管理技士

合格者
輩出数 **55万人突破!**

詳しくは
公式WEBサイトで!



日本マーケティングリサーチ機構 調査概要：2020年4月期_ブランドのイメージ調査

株式会社 **建築資料研究社** **日建学院**

主 催：公益社団法人 日本建築士会連合会

共 催：建築士会中国四国ブロック会
(鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知)

主 管：公益社団法人 広島県建築士会

後 援：国土交通省、広島県、広島市



発行 公益社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島県広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F

TEL.082-244-6830 FAX.082-244-3840

<https://www.k-hiroshima.or.jp/>